

# 東京都及び近県における高校での外国人入学特別枠について

2024年5月19日 東京の日本語教育を考える会

## 1. 東京都内の小中高校の外国につながるこどもの置かれた現状

東京都の高校外国人枠設置は順次拡大しているが、ここ数年は大きな進展がない状況が続いている。

### (1) 2024年度都立高校在京外国人入試枠と合格倍率

※2023年度、国際高校バカロレアは「外国人枠定員5名」があるが、「英語運用能力検査」による選考であり、多様な外国人生徒の受験が期待できるものではなく、データから除いた。  
下記(2)の2024年データも同様である。

学校名	人数	定員	応募	合格	応募/合格倍率
都立国際高校	国際学科	25名	73名	25名	2.92
都立飛鳥高校	普通科	20名	28名	20名	1.40
都立田柄高校	普通科	20名	37名	20名	1.85
都立竹台高校	普通科	20名	38名	20名	1.90
都立南葛飾高校	普通科	20名	42名	20名	2.10
都立府中西高校	普通科	20名	40名	20名	2.00
都立六郷工科高校	オートモビル工学	3名	3名	3名	
	デュアルシステム	3名	0名	0名	
	プロダクト工学	3名	2名	3名	
	システム工学	3名	4名	3名	
	デザイン工学	3名	6名	3名	
	計	15名	15名	12名	1.00
都立杉並総合高校	総合学科	20名	22名	20名	1.10
合計		160名	309名	157名	1.93

※「引揚者」については「引揚生徒対象」の特別入学枠がある。2024年度は3校の高校普通科で、各校6名・計18名の募集人員があり、「応募0名、合格者0名」であった。ここ数年応募が0。

※2010年度までは「外国人入試特別枠」があるのは国際高校のみ。その後増加し、2020年度には8校になった。この間、コロナ禍で減った訪日外国人は増加に転じている。今後さらに需要が増えることが想定され、一層の拡充が必要である。今後は全体の設置数増加に加え、地域のバランスや難易度も考慮し、複数の「外国人入試特別枠」を設置することが求められている。

### (2) 都立高校在京外国人入試枠と合格倍率(26年間の推移)

※高校名～国:国際 飛:飛鳥 田:田柄 竹:竹台 南:南葛飾 府:府中西 六:六郷工科 杉:杉並総合

年度	校名	定員	応募	合格	倍率	全日制普通科実質倍率
1999	国	15名	65名	19名	3.42倍	
2000	国	15名	68名	23名	3.00倍	
2001	国	15名	71名	21名	3.38倍	
2002	国	20名	59名	23名	2.57倍	
2003	国	20名	72名	22名	3.27倍	
2004	国	20名	47名	22名	2.14倍	
2005	国	20名	77名	22名	3.50倍	
2006	国	25名	66名	26名	2.54倍	
2007	国	25名	93名	27名	3.44倍	
2008	国	25名	85名	26名	3.27倍	
2009	国	25名	85名	26名	3.27倍	
2010	国	25名	112名	26名	4.31倍	
2011	国・飛	40名	116名	42名	2.76倍	1.44倍
2012	国・飛・田	55名	114名	56名	2.04倍	1.40倍
2013	国・飛・田	55名	117名	55名	2.12倍	1.44倍
2014	国・飛・田	55名	151名	57名	2.65倍	1.45倍
2015	国・飛・田	65名	172名	65名	2.65倍	1.45倍
2016	国・飛・田・竹・南	95名	197名	92名	2.14倍	1.47倍
2017	国・飛・田・竹・南・府	110名	216名	107名	2.02倍	1.47倍
2018	国・飛・田・竹・南・府・六	120名	247名	116名	2.12倍	1.45倍
2019	国・飛・田・竹・南・府・六	130名	225名	118名	1.91倍	1.41倍
2020	国・飛・田・竹・南・府・六・杉	150名	217名	136名	1.60倍	1.40倍
2021	国・飛・田・竹・南・府・六・杉	155名	211名	138名	1.53倍	1.37倍
2022	国・飛・田・竹・南・府・六・杉	155名	169名	138名	1.22倍	1.40倍
2023	国・飛・田・竹・南・府・六・杉	160名	204名	144名	1.42倍	1.36倍
2024	国・飛・田・竹・南・府・六・杉	160名	309名	157名	1.93倍	1.35倍